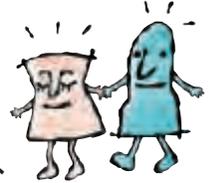


THE ライフルスポーツ RIFLE SPORTS

2022 **3**
第454号



- 日本クウェート国交樹立60周年記念 オリパラミックスイベント
- ISSF ワールドカップ カイロ大会
- 第41回 全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会



スポーツクジ

toto
FOR ALL SPORTS OF JAPAN

BIG

ライフルスポーツ

巻頭言

副会長・総務委員長 横山幸子

昨年、東京2020オリンピック・パラリンピックが無事終わり、2022年4月からはパリ2024に向けての新たな年度がスタートします。新年度を迎えるにあたり、総務委員会としての活動方針等についてご紹介いたします。

まず、総務委員会として現在取り組んでいる重要事項としては、各加盟団体の定款等の整備を行っていただくよう、各加盟団体の会長を始めとする役員の方々にお願いをすることです。ガバナンスの問題については、令和元年6月にスポーツ庁からスポーツ団体ガバナンスコード〈中央競技団体向け〉と〈一般スポーツ団体向け〉が発出されたことから明らかかなように、従前はスポーツを愛好する者の団体として規則等は曖昧なままであることが許されていましたが、日ラだけでなく加盟団体においても、規則等を定め法令等の遵守が求められています。これらの規則の整備は、当該加盟団体及び会員を守るためのものですから、是非、早急に取り組んでいただきたいと思います。

また、日ラでは近年、ハラスメント防止にも熱心に取り組んでおります。外部通報窓口を設置し、相談しやすい環境を整えております。ハラスメントのない風通しのよい状態を作ることは、競技力の向上の上でも不可欠です。どうぞ、気軽にご相談ください。

最後は財政についてです。昨年末に急に皆様をお願いいたしました、今年度もふるさと納税を利用した資金獲得をお願いいたします。詳しくは事務局にお尋ねください。

今年度もどうぞよろしくお願いたします。



今月の表紙

3月21日に開催されたクウェート日本国交樹立60周年記念共生射撃大会。左から松本選手、水田選手、瀬賀選手、松丸会長、岡田選手。

目次

日本クウェート国交樹立60周年記念 オリパラミックスイベントについて……………	2
クウェート日本国交樹立60周年記念 共生射撃大会……………	3
ISSFワールドカップカイロ大会報告……………	6
令和3年度第41回全国高等学校ライフル射撃 競技選抜大会……………	9
ライフル射撃の基本技術 その2……………	10
エアライフル・エアピストルの 普段のお手入れについて……………	16
2022年度 JOC エリートアカデミー (ライフル射撃)……………	18
2022年度新ルール対応状況……………	20

ISSFワールドカップ カイロ大会
クウェート日本国交樹立60周年記念共生射撃大会
ピストル(25m) ナショナルチーム選考会④
ワールドユニバーシティゲームズ・ジュニアWC(ズール)
選考会兼ライフル(10m/50m) ナショナルチーム選考記録会
2021年度第41回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会
育成ナショナルチーム(ユース・カデット・ノービス) 選考記録会
(AR/AP) ①
アジア大会・ワールドカップバクー選考会(10mAP/25m)
アジア大会・ワールドカップバクー選考会(10mAR/50m)

日本クウェート国交樹立60周年記念 オリパラミックスイベントについて

会長 松丸 喜一郎

昨年、日本とクウェートは国交樹立60周年を迎えた。クウェート射撃協会会長（兼アジア射撃連盟専務理事）であるオタイビ氏と相談し、両国射撃協会共催で記念のイベントを実施することになったのだが、コロナ禍にあって両国選手が集まっての競技はできない。そこで提案したのがオンラインによるオリパラミックスイベントである。話がまとり準備に着手する段階で、アジア射撃連盟（ASC）がこの企画を取り上げ、二国間のイベントからASC主催のイベントに格上げをしてくれた。現在ASCのHPで紹介されているが、イベントはスムーズに実施されて大成功であった。準備運営に尽力下さった各位に感謝申し上げたい。

ASCがオリパラミックスイベントを主催として取り上げてくれた意味は大きい。ロシアがウクライナに軍事侵攻し、人々の反戦感情は今までにないほど高まっている。銃という武器を使用する我々のスポーツは逆風にあると言ってよい。ライフルスポーツは社会課題の解決に貢献できることを人々に知ってもらうことが益々重要になってきた。男女オリパラの選手たちが一緒に競技ができる共生スポーツであることを、実際にミックス競技会を開催して人々に訴求する必要がある。そのことをASCの総会で提案してきたが、ASCが重要性を認識したからこそ今回のイベントを主催としたのであろう。ライフルスポーツから共生社会の実現に貢献していくというムーブメントが世界のうねりとなるように、日本は引き続き牽引役を務めていかねばならない。今年度の全日本AR/APと全日本BR/BPは、パラの選手も参加し、健常者とチームを組んで得点を競い合うことを企画している。皆様のご協力をお願いいたします。



クウェート日本国交樹立60周年記念 共生射撃大会

2022年3月21日（月）クウェート日本国交樹立60周年記念として、クウェート国と日本をリモートで繋ぎ、オリパラミックスチームの共生射撃大会を開催致しました。

我々日本ライフル射撃協会では、東京2020オリンピック・パラリンピック大会のビジョンである世界中の人々が多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会をはぐくむ「多様性と調和」、「共生社会」の実現に向けて、2021年12月に日本オリンピック委員会ならびに日本障がい者スポーツ協会の後援のもと、アスリートとパラアスリートのミックス大会の開催をスタートしております。

今回の大会は、2021年オリンピック会場において松丸会長のご提案による「クウェート日本国交樹立60周年記念大会」を、予てより親交のあるクウェート射撃協会会長 H. E. Otaibi と会議し、その実現に向けて準備をしておりましたところ、新型コロナウイルス感染拡大により、双方の選手が集合しての大会実施は困難となったため、松丸会長のアイデアにより、オリパラミックスチームとしての大会をクウェートとリモート中継し実施することとなり、ASCのご協力のもと、「クウェート日本国交樹立60周年記念共生射撃大会」が実現致しました。

今回開催致しました内容は、アスリートとパラアスリートが、それぞれ男女2人1組のペアを組み、その合計点で競い合うオンラインイベントとなりました。

結果は金メダル日本（瀬賀・岡田チーム）、銀メダル日本（水田・松本チーム）、銅メダル クウェート（Ali・Alanoud チーム）となりました。

閉会式には、アジア射撃連盟事務局長、クウェート射撃協会の会長の H. E. Otaibi が、以下のようにご挨拶をされました。

「アジア射撃連盟とクウェート射撃協会を代表して、松丸会長に、こんなに大切なオリンピック選手とパラリンピック選手の両方を含む初めての大会を日本ライフル射撃協会と実施できたことに感謝しております。まずは、すべての選手、役員、両国の方々に感謝します。皆様のご尽力により本競技会が成功しました。

このミックスチームイベントを実施にこぎつけるためのご協力、ご準備についても感謝申し上げます。これは世界初のオリパラ合同の国際試合になります。これは共生社会の促進を射撃競技から行えるという意義があります。このような大会が開催でき光栄に思います。また、このような企画の開催により、お互いに参加し競い、またお会いできる機会を設けてくれた松丸会長に感謝します。将来、





クウェートに来ていただくか、もしくはこちらから日本に伺い、このような競技会に選手が集まってできるようになると良いと思います。今年は国交60周年ですが、今後も両国の良い友好関係が更に継続することを願います。最後にASCとクウェート射撃協会、日本ライフル射撃協会のさらなる発展を願っております。皆様ご協力いただきありがとうございました。最後に、殿下の平素からのサポ-

トに感謝いたします。」

閉会式の結びには、松丸会長が英語でスピーチをされ、盛会のうちに終えることができました。

ご参加いただいた選手、役員のコメントは次のとおりです。

○瀬賀亜希子選手

「初めての体験ばかりでモチベーションもあがり、充実した時間を過ごすことができました。

枠にとらわれないことで新しい成長ができるように感じました。これからも枠にとらわれず選手としてのパフォーマンスに繋げていけるといいなと思います。」

○岡田直也選手

「12月オリパラミックス大会に続き、2度目の優勝ができて光栄です。前回に引き続き、パラ選手が高得点を続けて撃たれますので、匹敵する点を撃とう、ついて行こうと、より高い緊張感を持って集中して臨むことができました。」

◇水田光夏選手

「2度目のオリパラミックスでした。今回も松本さんとご一緒でき、以前よりさらに楽しんで臨むことができました。結果は2位と少し悔しい部分もありますが、リモートで海外選手と試合をするのは初めてだったので素敵な体験でした。また機会があれば参加させていただきたいなと思いました。」

◇松本崇志選手

「前回に続き水田選手とのチームで参加させていただき、パラ選手と一緒に同じ緊張感を味わいながら競うことができ、個人的にもいい機会となりました。機会があれば、是非また参加したいと考えています。ありがとうございました。」

◎岡田和也選手

「クウェート日本国交樹立60周年記念共生射撃大会への参加機会を頂きありがとうございます。この様なオリ選手・パラ選手でのミックスチーム大会に参加させて頂く事で、『多様性と調和』『共生社会の実現』へ繋がればと思います。大変貴重な経験をさせて頂き関係者の皆様に感謝申し上げます。次の機会も是非とも参加をさせて下さい。」

◎中口遥選手

「クウェート日本国交樹立60周年記念共生射撃大会に参加をさせていただき光栄に思います。12月のオリパラミックス大会に続き2回目の参加です。クウェートの選手とオンラインでの試合、緊張しましたが、楽しく射撃できました。ありがとうございました。」



★古賀貴裕選手

「いつもと違う環境、試合形式、メンバーでの試合はとても新鮮でした。オリパラの違いはあるものの、トップレベルの射撃を目の当たりにし、学ぶ点が多く有意義な体験でした。この機会を与えて頂き感謝申し上げます。またコロナ禍にも関わらず、周到にご準備頂いた関係者皆様のご尽力に重ねて御礼申し上げます、有難うございました。」

★山田咲来選手

「初めての経験で緊張しました～。参加させていただきありがとうございました。貴重な体験ができました。メダルマッチに進むことができず悔しかったです。また参加したいです。」

猪坂 桂 (コーチ)

「オリンピック・パラリンピックの枠を超え、一緒に“チーム”として試合をすることは、選手にとって貴重な経験であるとともに、おおいに刺激になったと思います。障がい者連盟の選手にとってリモートによる国際大会は初めてであり、開始前は不安そうにしていた選手ですが、真剣ながらも楽しんで射撃ができたようです。このような機会を通して、スポーツの素晴らしさを発信していけたらと思います。関係者の皆様、有り難うございました。」

ご準備の段階からご協力いただいた選手、役員の皆様には御礼申し上げます。

今後もこのようなオリパラ共生射撃大会の開催を推進してまいりたいと考えております。

皆様のご理解ご協力を引き続きよろしくお願い致します。（文責：三木容子）



ISSF ワールドカップ カイロ大会報告

2022年2月26日から3月8日まで、エジプト・アラブ共和国・カイロ市にて ISSF ワールドカップが開催されました。

64か国 延べ520人の選手が出場したこの試合に、日本としては約2年ぶりの海外遠征となりました。カイロは本年10月の世界選手権開催地です。10月の世界選手権からQP(国別オリンピック出場権)が付与されます。その為に、このワールドカップカイロ大会への出場は準備として必要な試合でありました。

選手13名、スタッフ7名の計20名での遠征となりました。

試合会場は、カイロ市から車で40分程度離れたインターナショナルオリンピックシティという場所で、将来エジプトがオリンピックを誘致するために建設を行っているエリア。まだ射撃場以外は建設中という状況でした。

カイロは砂漠の国で熱いとのイメージもありますが、この時期はまだ冬の時期になり、最高気温17度・最低気温12度という少し肌寒い時期です。ただ気温の変化も激しく、ある日は最高気温29度となり、非常に寒暖差の激しい状況でした。射撃場は非常に広く室内は外に比べてさらに温度が低くなっていました。

風の影響も大きく、朝は風がない状況でも10時を過ぎると大きな風が吹き、50m への影響が非常に大きかった。大きな射撃場であるため射座の場所により風の状況が変わり、60的から風が強いなどという状況もあった。風への対策は必須である。

ある日は砂埃が舞う強風であり、25m 射撃場でも前が見えないくらいの状況もあった。

気温や風の状況、射撃場の環境など現地でないとは確認できない事柄が多くあったが、中でも一番の問題はホテルの位置でした。日本チームは、射撃場へ歩いて10分のホテルを確保でき、バスの時間に縛られずに行動ができました。しかし、いくつかの国は車で40分ほど離れたホテルへの宿泊となり、バスのスケジュールが少なく台数も少ないために非常に苦勞をしていたとのこと。これも現地情報として重要なものでした。(世界選手権はすべての国がこの近いホテルの予約で殺到するでしょう)

到着した翌日には、在エジプト日本国大使館の岡特命全権大使と Web で繋ぎ、選手全員に対して激励のお言葉を頂きました。日本国大使館には緊急時のバックアップをお願いしており、事前に連絡を取っております。

今回の大会は、海外大会の経験値を得るために、最大限の試合参加とし MIX、TEAM もできる限り出場しました。試合数が増え、午前中 PET、午後本選という組み合わせもあり、日程を増やさないと試合数をこなすためにかなり無理をしている時間割となっていました。

10m エアライフル

男子は島田敦選手がスタートから非常



に安定した試合運びで105点台をキープ。629.1点で惜しくも9位でファイナル進出を逃しました。

女子は野畑美咲選手が海外試合初挑戦でした。緊張もありいつもの試合展開とはなりませんでしたが、ここでの経験を次につなげていけるとと思います。

男子のチーム戦では、岡田直也選手・遠藤雅也選手・鳥田敦選手のチームで7位入賞となりました。

10m エアピストル

男子は園田吉伸選手1名での出場であった。577点の22位ではありましたが、この試合で多くの学びと気づきがあったとのこと。のちのミックスでは山田聡子選手と共に安定した成績でファイナル進出。6位入賞となりました。

女子のチーム戦では、小西ゆかり選手・佐々木千鶴選手・山田聡子選手がファイナル進出。6位入賞となりました。



50m 三姿勢

この種目は、従来の120発競技から60発競技となりました。

80mある大きな射撃場で、風の影響が射座によって異なる状況であった。予選では特に60mより後半の風が強く、上位成績にほぼ入っていない環境であった。「10時ごろから強い風が吹く」とのゴランコーチの予想通りの結果で、風との戦いであった。

女子は平田しおり選手・中口遥選手兩名ともファイナルまであと3点の582点と健闘した。



男女とも風の中上位陣は伏射・膝射を満射に近い点数でまとめてくる。風への対応は課題である。日本としては経験のない50m ミックス種目、チーム種目にも出場。ミックスは55チーム出場、パート1が朝7時30分開始で2射群設定となり、2射群の成績順位でパート2の出場を決める試合となった。朝早くは風が弱く条件が違った。

これも試合数が増えた影響であったのかもしれない。

25m ピストル

ラビットは吉岡大選手1名での出場であった。ワールドカップのラビットは必ず後半遅い開始で、出場まで待ちの日にちが多かった。調整にも工夫が必要であり、今後の課題も多く見つけた。

女子SPは山田聡子選手が個人でファイナル進出。7位入賞。

さらにチーム戦では小西ゆかり選手・佐々木千鶴選手・山田聡子選手のチームが



ブロンズメダルマッチに出場。16ポイント先取の15ポイントまで順調にポイントを重ねたが、最後の1ポイントが遠く、逆転負けとなった。フルセットの戦いは、3名の選手に多くの経験を与えた試合となった。

今回の遠征は、まだコロナ禍での海外遠征となり、出発から帰国・隔離まで非常に多くの時間と準備が必要な試合であった。この状況下で無事に全員が出国でき帰国できたことは、選手の努力と自己管理もあり、また多くのスタッフのサポートがなければ成しえなかった。遠征に携わったスタッフ関係者・選手とその御家族、すべての皆様に感謝申し上げます。

選手強化委員長 佐橋朋木



令和3年度第41回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会

令和4年3月25日～27日、三重県営ライフル射撃場にて、令和3年度第41回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会が開催されました。この全国高校選抜大会は、昨年、一昨年と新型コロナウイルスの影響で中止や分散開催となったため、実に3年ぶりに集合形式での開催となりました。しかしながら、大会の数日前まで、まん延防止等重点措置が適用されていた地域もあり、依然として慎重な大会運営が求められるなかでの開催となりました。運営サイドとして特に気を遣ったのは、「いかに射撃場内の人の混雑を避けるか」「万一の際しっかりと追跡ができるか」ということです。そのため、選手や引率の先生方、保護者の方々に、事前に来場者名簿をご提出いただき、名札を作り入場管理を行いました。学校や県によって様々な事情があり、事前に相談・調整させていただいた部分もありましたが、最終的には皆様のご理解・ご協力により、制限付きではありますが、保護者の観戦も可能な形で、公式練習からファイナルまで、実施することができました。

競技面では、10m射撃場にBR・BP機材を並べて実施し、エアライフル競技の際は、チーム関係の機材を全て撤去して電子標的を備え、シウスの集中管理にて実施しました。また、チーム競技のファイナルについては、限られた時間内で実施するためにBRとBPを同時に実施しました。コールが被ったりして選手の皆様に迷惑をかけないか心配ではありましたが、射場長の配置を工夫するなど、ご協力をいただき、コール面での混乱は無く、実施することができました。

結果を振り返ると、1年生の活躍が目立った大会ではなかったかと思います。6種目中4種目において1年生が優勝しました。ここからさらに力をつけて、令和4年度の夏の全国大会や栃木国体での活躍を期待したいと思います。

最後になりますが、県内役員が少ないなかでの実施となり、至らぬ点が多々あったことと思いますが、皆様のご協力のもと、無事、終えることができました。ありがとうございました。今後も、機会がありましたら、三重県営ライフル射撃場をご利用ください。

三重県ライフル射撃協会
安野智也



ライフル射撃の基本技術 その2

訳者：公益社団法人 日本ライフル射撃協会事務局長 藤井彌（わたる）

ライフル日本代表コーチのゴラン・マクシモヴィッチ氏による、ライフル射撃の基本技術についての記事です。今回は、伏射と膝射についてです。

伏射姿勢

伏射姿勢は、最も安定した射撃姿勢です。その理由は、体を支える面積が最も大きく、重心が最も低い位置にあるからです。これにより、射手の体と銃が、一体として最もバランスがよくなります。

基本的な伏射姿勢は以下の要素で構成されています（右利きの射手）。

- 射手の体は、射手の縦軸と射線が0～20度の角度になるように傾斜させます。このように体を斜めにすると、胸郭が締め付けられず、比較的自由的な呼吸ができます。同時に、頭をストックのチークピースに、バットプレートに肩に接地させるのに良い条件が揃います。これらにより、正しい照準ができ、快適な姿勢になります。
- 脚は緊張せずに広げます。脚の筋肉が硬くなりすぎないように、左脚はつま先の先を地面につけて傾けます。左脚は体の他の部分と正確に一致し、脊柱と平行になります。右足は膝を45度ほど曲げ、右足の内側を完全に地面につけます。右足を曲げることで、射手が完全に腹ばいにならずに、少しだけ左腰に体をのせることができ、呼吸が楽になり、胃の脈動を避けることができます。
- 背骨はまっすぐです。



- 左腕は肘を曲げてフォアエンドストッパー方向に前にだします。ただし、規定の範囲内で前腕と地面の間の最小角度は30度です。



- 左ひじはライフルの真下か少し左にあること。
- 左腕は最大限にリラックスしていなければなりません。

- 左腕の手は手首が曲がっておらず、リラックスしており、指でストックを締め付けていません。ライフルは手のひらの中央、親指側に少し傾けます。
- ライフルの全重量は左腕にかかっています。
- 右手はピストルグリップを普通の強さで握ります。右手の手首はまっすぐにします。引き金を引く指の付け根はストックから離し、トリガーに対して90度の角度で曲げます。これにより、引き金を引く感覚が最もよくなります。
- 右手の肘は、体に近づけたり、脇に力を入れて離したりしてはいけません。ピストルグリップを握ると同時に、肘を自然に地面へおろします。
- 頭は背骨の前に置き、ストックのチークピースに載せ、チークピースの前部に寄りかかります。頭は右にも下にも向けてはなりません。フロントサイトまでの目の距離は、フロントサイトがリアサイトの視野の3分の1を占める位置です。
- 左肩は右肩より少し低い位置にあります。
- スリングは左腕とライフルをしっかりとつなぎます。スリングは、左前腕、左上腕、スリングからなる強固な三角形を形成し、ライフルを構造的に支える役割を果たし、ライフルを保持している間、左腕の筋肉を解放する必要があります。スリングは、緩くてもきつくてもいけません。緩いと安定性が損なわれ、左手の筋肉がライフルの保持に含まれてしまいます。締め付けすぎると、銃が揺れ、血行不良による脈動が発生します。スリングは上腕部の2箇所に装着することができます-肘の近くの低い位置と、肩の近くの高い位置に装着することができます。スリングを上腕の中央に立ててはいけません。そうすると、スリングが直接上腕三頭筋の中央に位置し、震えたり、血液循環の妨げになったりするからです。



伏射姿勢には左手の位置に応じて、ハイポジション、ローポジション、ミドルポジションの3種類があります。この3つの位置はすべて正しいです。ローポジションの唯一の条件は、前腕と地面の間の角度が30度よりも大きいことです。

これらの3つの位置にはそれぞれ長所と短所があり、位置の高さは射手の体のプロポーションによって決まります。

ローポジションは、最も安定した射撃姿勢です。体の重心が一番低くなります。しかしながら、ローポジションは、撃ちやすい姿勢ではありません。胸郭を圧迫し、呼吸に影響を与え、脈動が乱れ、頭を正しく保つことが難しい姿勢です。その結果、首の筋肉が緊張し、額を下に向けた状態で照準が行われるため、照準の視認性が悪くなります。この位置は、首が長く、手が短く、肺活量の多い射手に最も適しています。ローポジションは安定性が最も高いながらも、射撃がしづらい姿勢ですので、この姿勢を使用する射手は射撃のリズムを早くする必要があります。

ハイポジションは、胸郭を最もリラックスさせ、頭の位置を正しく保つ事を容易にするため、照準を合わせるのに非常に適しています。デメリットとしては、姿勢の重心が高いため、安定性がかなり低くなり、左肘への圧力が強くなり、体の筋肉が一列になって締め付けられるため、すぐに疲れてしまいます。

ミディアムポジションは、ローポジションとハイポジションの両方の悪い面を避け、良い面を保つことができるため、最も多くの射手に使われている姿勢です。

体質に合わせて位置を修正します。

- 腕の長い射手は高めの姿勢をとり、左ひじは左に、右肩は高い位置をとります。

- 腕の短い人は低めの姿勢をとり、左肘はライフルの下にあり、右肩は低い位置をとります。

- 太っている人は高めの姿勢をとり、右足をもっと曲げて、左の腰にもっと寄りかかります。

伏射姿勢をとる方法

- 伏射姿勢をとるには、まずスリングを外して行います。
- 射線から0～20度程度右に曲がり、体を完全にまっすぐにして、左足が背骨と平行になるように横になります。
- 肺から空気を吐き出し、射手が楽に息を吸える範囲で右足を曲げますが、45度以上は曲げないようにしてください、45度以上曲げると左の腰に動きが出て姿勢が落ち着かなくなります。
- 左腕をターゲットに向けて伸ばします。
- ライフルを左手の付け根に沿わせ、バットプレートに肩付をします。
- 照準が標的にあう範囲で、左手を動かしてフォアエンドの前を握ります。
- 左腕は、前腕と地面との角度が30度以上になるように置きます。銃をおろし、手の位置の1cm前に印をつけ、そこにフォアエンドストップを固定します。そうすることで、バットプレートの肩付接触が良くなります。
- スリングを左上腕三頭筋の上か下になるように置き、左に半回転させます。スリングをフォアエンドストッパーに取り付け、位置を固定します。
- 左腕を完全にリラックスさせた状態で標的に照準があうように、スリングの長さを調整します。
- 左ひじはライフルの少し左に置きます。
- バットプレートへの肩付が弱い場合は、バットプレートを延長します。逆にライフルが肩を押しすぎる場合は、ライフルストックを短くします。
- 頭部をチークピースに置き、頬がチークピースの前方部分にくるようにします。必要に応じてチークピースを調整して、射手が（自然な位置のまま）サイトを直接覗けるようにします。
- 右手はピストルグリップを普通の強さで握り、手首がまっすぐになるようにします。右手のグリップは、引き金を引く指がまっすぐ後方に移動できるようになっています。
- 銃身の上部を押して急に離すことで、位置の堅さと左腕の位置を確認します。銃身が元の位置に垂直に戻れば、正しい姿勢です。

標的に合わせた姿勢調整を行います。

- 水平方向の調整は、左ひじが同じ位置を維持したまま、足で全身を左右に移動させて行います。
- 垂直調整は、両肘が同じ位置を維持したまま、弾着が高ければ体全体を前方に、低ければ後方に移動させます。

膝射姿勢

膝射姿勢は、サポートエリアが非常に狭く、射手・ライフル一体の重心が高いため、伏射姿勢に比べて安定性が低くなります。サポートエリアは、左足、右足の膝とつま先の3点に限られます。このように、膝射姿勢は射手の姿勢が不自然であるため、最も複雑な射撃姿勢であると考えられています。この姿勢は、射手に非常に多様な能力と粘り強さを要求します。膝射姿勢での体の上部は、伏射姿勢に近いものでなければなりません。膝射姿勢では、右足を支えるためにニーリングロールを使用します。ニーリングロールの大きさは、射手の安定性と正しい姿勢のために非常に重要である。ニーリングロールの厚さは射手の足の大きさに依存し、射手が右足のかかたにリラックスして座ることができ、同時に地面から高くないような厚さでなければなりません。

膝射姿勢には次のような要素があります（右利きの射手）

- 射手の体は標的からの射線に対して、右に15～30度回転します。
- 左脚を曲げて、前脚が地面に対して垂直になるようにする。少し前に出たり、後ろに下がったりする可能性もありますが、いずれにしても脇が甘くなることはありません。
- 左足つま先は右に回転させ、足の軸と射線が35～45度の角度を形成します。
- 右膝は、射線から右に約45度の自然な角度の下にある。



- 右足は垂直で、つま先はわずかに右またはまっすぐです。
- ニーリングロールは、足首よりもつま先にやや近い位置にあります。
- 射手は右足のかかとにもたれかかるか、背骨の最後の部分でわずかに前方に傾いています。



- 背骨はまっすぐで、リラックスした状態で前に曲がっている。背骨は脇に曲げてはいけません。
- 左腕は肘を曲げて、伏射姿勢とほぼ同じ姿勢をとります。
- 左腕は左膝に寄りかかり、平らな部分が肘のすぐ上にあります。
- 左腕はライフルからやや左に寄せ、自然に伸ばします。
- スリングは左腕の上部に固定されています。
- 左手の手首はまっすぐで、手はフォアエンドストッパーにもたれています。
- ライフルは手の中央、または親指側に少し傾けます。
- 左手の指はリラックスしています。
- 右腕は10～20度の角度で体から少し離れています。
- 右腕の手は普通の強さでピストルグリップを握っています。
- 右肩は完全にリラックスしています。
- 両肩の高さは同じです。
- ライフルはやや左に傾いていますが、これはストックのチークピースに頭がまっすぐ寄り添い、筋肉がリラックスできるためです。
- 射手の体重の大部分はニーリングロールにかかっています。

膝射姿勢の取り方

- ニーリングロールを射線から約45度右の地面に置きます。

- ニーリングロールの後ろに標的に向かって立ち、体を右に10～30度回転します。
 - 右膝について、ニーリングロールが右足の甲よりもつま先に近い位置にあり、背骨の端がかかってくるようにします。
 - 右足のつま先は地面に平ら、もしくは少し（1cm）右に移動しており、射手が脇に落ちるのを防ぎます。
 - 右足は、射線に対して約45度の角度です。
 - 右足の膝は少し地面についています。
 - 左の前脚は垂直で、脇腹を曲げることはありません。射手の体質にもよりますが、わずかに前に出したり、後ろに下げたりします。
 - 左足は右足とほぼ平行です。
 - 左ひじを左ひざの上に置き、ひざを挟んで膝の上で少しずらします。左腕は目標に向かってまっすぐに伸ばします。左手の手首は真っ直ぐにして、射手は左手の上から標的の中央を狙います。
 - この姿勢をとるとき、スリングは左上腕の上腕三頭筋の上に置きます。
 - ライフルを持ち、スリングを付けずに姿勢を取ります。
 - フォアエンドストップを手の横の位置に置きます。
 - スリングをライフルに装着し、ライフルを肩付します。
 - スリングを締め、ライフルが標的を向いている状態で、かつ左腕が完全にリラックスするまで、フォアエンドストップを後方に移動させます。
 - ライフルをわずかに左に向けます。
 - 頭部をストックのチークピースの上に乗っすぐ置きます。
 - 右手でピストルグリップをやわらかめ～普通の間の強さで握ります。
 - 右肩と背中をリラックスさせます。
 - 体重は主にニーリングロールにかかります。
 - 標的に対するサイトの位置を確認し、調整を行います。
 - 水平方向の調整では、システム全体の左足、右足、右ひざを左右に動かします。
 - 垂直方向の調整：左足を前後に動かし、バットプレートを上下に動かし、スリングを締めたり離したり、フォアエンドストップを動かします。
- 体質によって、様々なバリエーションの姿勢がありますが、基本は4つです。
- a) 胴長・腕長の場合、左腕はより膝上に、左足は標的に向かって動かします。
 - b) 胴体が長く、腕が短い場合、左腕の肘が膝の前にあり、左足が垂直になります。
 - c) 短体・短腕・長足の場合、左肘が膝の前にあり、左足を標的に向かって動かします。
 - d) 胴体が短く、腕が長い場合、左肘が膝よりも上にあり、左足が垂直です。

備考

この論文ではジュニアカテゴリーを扱っているので、射手（特に男性射手）の成長に特別な注意を払う必要があります。また、シーズン中やシーズン間で体質が変わることもあるので、それに合わせて姿勢の要素を変更する必要があります。

照準

トップスコアを達成するためには、次の重要な要素として「照準」があります。素人には簡単なことです。標的、フロントリング、リアサイトを同心円状に配置し、中心を狙えばいいのです。しかし、特に初心者の方は、位置あわせが完璧ではなく、ライフルが大きく動く中、リングの中の黒い円を「捕まえる」ことが問題となります。

照準方法

まず、射手に照準のやり方を教えます。黒丸に合わせて照準がどのようになっている

かを描いてもらいます。その後、支持台の上に置いたライフルを渡され、自分で狙いを定めて、紙の上で見た絵を転写するのです。照準器がターゲットに対してどのように立っているかを理解したら、その姿勢で照準を合わせる練習をする。

頭の位置

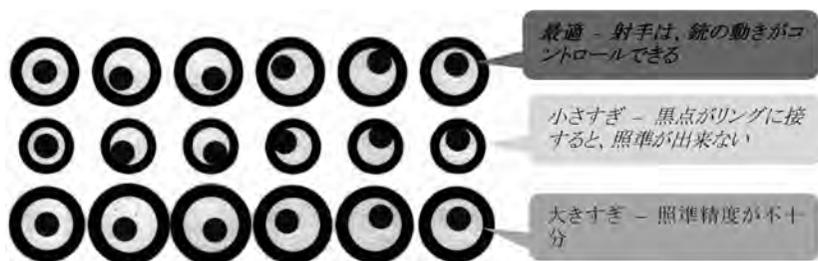
サイトをまっすぐ覗き込むように、ライフルのチークピースを装着します。



トップ射手の場合、照準はほぼ自動的に行われます。射手はほとんど引き金に集中しており、その後に照準の誤りが発生します。引き金を引いた後、射手は数秒間その位置にとどまり、フロントリングがリアサイトの中央にあるかどうかなどをチェックしなければなりません。撃発時の頭の動きは、照準合わせの際によくあるミスです。

リングサイズとリアサイト開口部の調整（絞り）

- リングサイズとリアサイト開口部の調整（絞り）について。原則として、リングは黒丸の1/3の大きさが望ましいのですが、必ずしもそうではありません。射手の適応力に応じて、リングの大きさは異なります。初心者の方はリングを大きくする必要があります。なぜならば、ライフルがより動き回るため、黒丸が常にリングの中にあるわけではないので、射手は撃発に集中できず、それを「狩る」必要があるからです。このルールはトップ射手にも適用されます。ライフルが比較的落ち着いている伏射姿勢では、立射姿勢に比べて小さめのリングを使用し、膝射姿勢ではその中間のサイズを使用しています。リアサイトの開口部の調整（絞り）により、フロントリングと標的をはっきりさせる事ができます。開口部が小さすぎると、黒い円が視覚的に大きくなり、リングに溶け込んでしまいます。開口部が大きすぎると、リングの正しい形が失われ、射手は正しい照準映像を得ることができません。開口部が大きすぎると、頭の位置の間違ひが多くなります。



ライフルは常に動いているので、射手は常に同じ側から同じように照準を合わせることを学ばなければなりません。このようにして、照準の自動化を達成し、エラーを最小限に抑えることができます。

立っている時はライフルを上から、伏射時や膝射時は下から持つてくることをお勧めします。これが、呼吸、照準、撃発を調整する最も簡単な方法です。



次の理由から、照準は両眼（両目を開いた状態）で行うべきです。

両眼で見ることにより、単眼で見るとよりもシャープな視界が得られます。これは、両眼に伝わる信号が中枢神経系の対応する部分をより刺激するため、および自然な状態で機能することによる脳細胞の疲労軽減ためです。

エアライフル・エアピストルの 普段のお手入れについて

株式会社 銀座銃砲店
塚田

Hey, guys !!

練習や試合の後、皆さんはお手入れをしていますか？

普段のお手入れであなたのシューティングライフが変わります！

ここでは過去に選手から受けた質問に答える形式で皆様にお伝えしていきたいと思ひます。

Q. エアライフル・エアピストルは普段のお手入れ必要ですか？

A. はい！銃身の内側と外側のお手入れが必要です。

【銃身の内側】

・実射後の銃身（バレル）内側には鉛のカスや弾の表面に塗られているワックス、手の油などが付着しています。

適度なお掃除をすることで弾の飛行や弾速が安定し、着弾（グルーピング）が、小さくなります。

お手入れ方法はヒモタイプのクリーニングキットで、実射後に1回通せばOK。

オイルなどは使用せず、ドライな状態で使用してください。

試合前だからと気合を入れてキレイにしようと何度も通してしまうと逆効果。

銃身（バレル）内の鉛のコーティングが取れてしまい着弾がバラつきます。

再び着弾を安定させるのに500発以上は弾を通す必要があります。



【銃の外側】

- ・銃には銃身（バレル）やネジなどの鉄製の部品が多く使われています。その鉄製の部品を直接手で触ると汗や油が付着し、サビの原因になります。使用後は、触った部分を重点的にサビ止めのオイルを染み込ませた布で拭いてください。

※注意※

- ・スプレータイプのサビ止め、潤滑油は絶対に使用しないでください。スプレーは広範囲に浸透してしまうので電子基板を破壊したり、パッキン類を溶かしたりその他の不具合の原因になります。
- ・シリンダーは数週間に1回くらいのペースでネジ部分をキレイな布で汚れを拭き取り、米粒の半分くらいのグリスをネジ部分に少し付けてください。そのままシリンダーを銃に装着するとネジ全体にグリスが馴染みます。これを怠るとシリンダーの着脱が重くなります。シリンダーのネジ部分はいつもキレイに！

Q. 練習後・試合後にシリンダーは緩めた方がいいですか？

A. はい！必ず緩めてください！

暴発の危険性があるので使用するとき以外、シリンダーは緩めて空気が銃に送り込まれない状態にしてください。

また、シリンダーを装着したままだと空気の圧力が常に銃の内部に掛かっている状態なのでOリングやパッキン、バネ等に負荷がかかりエア漏れなどの故障の原因になります。

シリンダーは緩める、もしくは取り外してケースに入れましょう！

※シリンダーを緩めても銃内部にエアが残っている銃もあるので、実射後は射座内で銃口を標的に向けた状態で数回空撃ちし、エアが残っていないか確認してください。

普段、銃器に関する疑問に思っている事などがあれば、気軽に聞いてください。

Good luck！！



2022年度

JOC エリートアカデミー（ライフル射撃）

JOC エリートアカデミーにライフル射撃が参画して9年目を迎えました。

現在は、ライフル種目1名、ピストル種目1名の選手が、HPSC ナショナルトレーニングセンターを拠点に日々、射撃練習、フィジカルトレーニング、メンタルトレーニングに取り組んでいます。2022年度からは新しいチームエンブレムのもと、「TEAM JAPAN」の一員として、更なる競技力・生活力・知的能力の向上を図ります。選手に今年度の目標を聞きました。

皆様の温かいご支援ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



JOC ELITE ACADEMY

○西田葵（11期生 成立学園高校2年 秋田県ライフル射撃協会）

今年度の目標はジュニアランキング1位になることです。そのために、自分のルーティーンを繰り返し行う基本練習に、日々、集中して取り組みます。その結果、自己新記録を更新していきたいです。

抱負としては、芯のある人になることです。具体的に、トラブルが起きた時の動揺や試合の緊張感などがあってもすぐに元の流れに戻ることができる力が必要だと思いました。それを達成するために、日頃の行動を、ゆっくりした意識で行い、心に余裕を作ることと呼吸を深くすることの2つを実行していきます。

新しく取り組むこととしては、メンタルトレーニングを活用した行動を日ごろから取り入れていきたいです。意識をゆっくり（ゆったり）とするだけではなく、背筋を伸ばすことでより呼吸が深くできることに繋がるので毎日、継続して取り組んでいきたいです。また丹田法を体得し体も心も安定した状態を作っていきます。



○山田咲来（14期生 成立学園高校2年 高知県ライフル射撃協会）

今年度の目標は2つあります。1つ目は、ナショナルチームに入ることです。

2つ目は、東アジアユースエアガン大会で、ファイナルに残りメダルをとることです。

なぜなら、昨年度は、目標だった東アジアユースエアガン大会に出場することはできませんでした。納得のいく結果を残すことができなかったのも、メダル獲得を目標にします。以上2つを目標に日々精進していきたいです。

抱負としては、目標を達成するために、一日一日を大切にしながら射撃場での練習以外にもフィジカルトレーニングやイメージトレーニングなども積み重ねていきたいです。また、周りへの思いやりの出来る人へ成長できるように過ごしていきたいです。

新しく取り組むことは、今年度からは射撃技術の向上のためにも、語学の勉強にも力を入れて、他言語の方々ともコミュニケーションのとれるようにしていきたいと思います。



2022年度新ルール対応状況

文：日本ライフル射撃協会 事務局長
ISSF（国際射撃連合）ライフル委員
藤井彌（わたる）

例年、オリンピックが終わった翌年に大幅なルール改定がISSF（International Shooting Sports Federation = 国際射撃連合）から発表されます。

2012ロンドン大会後の（本選点数が持ち越されない）ゼロスタートのファイナル、2016リオ大会後の50m 伏射60発種目廃止、50m フリーピストル種目の廃止、10m ミックスチーム種目導入など、大きな変化を経験してきました。2020東京大会後の今回も、大きな変化を向かえようとしています。

今回の新国際ルールは、原稿執筆時点（4月下旬）においてもワールドカップ等で試行錯誤が続いており、まだ確定していません。

これをうけ、2022年度の国内競技では、ISSF 新ルールは予選・本選のみ適用し、ファイナルは現行ルール（東京2020版）を適用する事を競技運営委員会が3月17日に発表しました。

国民体育大会においても同様に行う事を、国体委員会が4月18日に発表しました。

国内競技新ルール適用の主要なポイントは、50m 3姿勢種目です。

- 試合弾数が60発へ変更
- 予選と本選が復活
- 競技時間は、1時間30分※

※以前の女子3姿勢60発種目の競技時間とは異なります。

予選・本選についても、国内にてより良い運営ができるよう、競技運営委員会が継続的に検討しています。

最新情報は、競技運営委員会から協会ホームページに随時掲載されます。
引き続きご注目ください。

ISSF ワールドカップ カイロ大会

2022年2月26日(土)～3月8日(火) エジプト・カイロ

個人 (10m・25m)

本選上位8名がファイナルステージパート1に進出、ファイナルは、パート1とメダルマッチで構成される

ファイナルステージパート1:本選上位8名が4名ずつの2組(リレー1、リレー2)にわかれて競い、各リレー上位2名(計4名)がメダルマッチに進出
メダルマッチ(MM=Medal Match):4名で競い、上位2名がゴールドメダルマッチ(GMM)に進出、上位2名でゴールドメダルマッチを行い、金銀が決定
Team

QS1 1名30発 合計点上位8チームがQS2へ

QS2 1名20発 合計点3位と4位でBronze Medal Match, 1位と2位でGMM

BMMとGMMは、それぞれ16点先取のポイント制(1名1発x3名の合計点と競う 勝2、同点1、負0)

10m Air Rifle 60 (2/28、103名)

	(Relay1)	(Relay2)	(MM)	(GMM)
① SOLLAZZO Danilo Dennis (SVK)	632.1	45.0	43	16
② JANY Patrik (ITA)	631.0	43.5	47	14
③ PRIVRATSKY Jiri (CZE)	630.2	45.5	36	
④ CHARNOU Uladzimir (BLR)	630.6	39.5	19	
⑤ KAMENSKIY Sergey (RUS)	630.1	38.5		
⑥ GORSA Petar (CRO)	629.6	37.0		
⑦ MASLENNIKOV Vladimir (RUS)	632.7	23.5		
⑧ STREMPFL Martin (AUT)	630.8	17.5		
⑨ 島田 敦(自衛隊体育学校)	629.1			
⑩ 遠藤 雅也(名阪急配)	627.8			
⑪ 花川 直樹(自衛隊体育学校)	627.4			
⑫ 岡田 直也(ALSOK)	623.4			
⑬ 松本 崇志(自衛隊体育学校)	618.8			

⑬ WEISZ Alison Marie (USA)	630.0	40.5	39.5	
⑭ MESZAROS Eszter (HUN)	629.4	48.0	22.0	
⑮ LIN Ying-Shin (TPE)	630.8	36.5		
⑯ VUKOJEVIC Teodora (SRB)	629.8	37.5		
⑰ ARSOVIC Andrea (SRB)	630.7	20.0		
⑱ STENE Jenny (NOR)	629.6	20.0		
⑳ 中口 遥(滋賀ダイハツ)	624.5			
㉑ 平田しおり(明治大学)	623.1			
㉒ 野畑 美咲(大分県立由布高校)	622.8			

STEFANOVIĆ Milutin	315.6			
⑳ (Croatia 1)	628.7	44.5		
GUSTIN Valentina	314.7			
GORSA Petar	314.0			
㉑ (Norway 2)	628.7	40.0		
STENE Jenny	316.3			
LARSEN Henrik	312.4			
㉒ (United States 1)	628.7	37.0		
TUCKER Mary Carolyn	315.1			
KOZENIESKY Lucas	313.6			
㉓ (India 2)	619.5	22.5		
GUPTA Aayushi	302.3			
PATIL Rudraksh Balasaheb	317.2			
㉔ (United States 2)	618.6	15.0		
WEISZ Alison Marie	304.9			
SHERRY Timothy	313.7			
㉕ (Japan 2)	627.1			
平田しおり(明治大学)	313.0			
島田 敦(自衛隊体育学校)	314.1			
㉖ (Japan 1)	626.2			
野畑 美咲(大分県立由布高校)	312.5			
遠藤 雅也(名阪急配)	313.7			

50m Rifle 3-Positions 60W (3/5、87チーム)

	(FS)	(MM)	(GMM)
① DUESTAD Jeanette Hegg (NOR)	588	29x	309.6 41.5 17
② CECCARELLO Sofia (ITA)	588	32x	309.5 41.0 13
③ STENE Jenny (NOR)	594	33x	309.3 39.5
④ MUELLER Lisa (GER)	589	26x	306.7 23.0
⑤ DVORSAK Ziva (SLO)	589	28x	305.4
⑥ VUKASINOVIC Sanja (SRB)	585	27x	304.7
⑦ BEER Jolyn (GER)	592	38x	303.2
⑧ HOFMANN Olivia (AUT)	589	27x	302.4
⑨ 平田しおり(明治大学)	582	24x	
⑩ 中口 遥(滋賀ダイハツ)	582	28x	

50m Rifle 3-Positions 60 (3/4、87名)

	(FS)	(MM)	(GMM)
① JANY Patrik (SVK)	588	31x	305.3 43.5 16
② PEKLER Zalan (HUN)	585	33x	305.3 42.0 10
③ GORSA Petar (CRO)	586	29x	304.5 37.0
④ HEGG Jon-Hermann (NOR)	591	35x	304.2 22.5
⑤ HALVORSEN Ole Martin (NOR)	588	27x	303.2
⑥ YURKOV Yuriy (KAZ)	585	33x	301.3
⑦ DUERR Christoph (SUI)	584	26x	298.7
⑧ LOCHBIHLER Jan (SUI)	586	32x	298.2
⑨ 島田 敦(自衛隊体育学校)	581	21x	
⑩ 松本 崇志(自衛隊体育学校)	578	22x	
⑪ 遠藤 雅也(名阪急配)	574	14x	
⑫ 花川 直樹(自衛隊体育学校)	573	22x	
予選退岡田直也(ALSOK)	565	9x	

10m Air Pistol 60W (3/1、80名)

	(Relay1)	(Relay2)	(MM)	(GMM)
① KORAKAKI Anna (GRE)	583	40.037.0	16	
② SINGH Esha (IND)	578	41.535.5	4	
③ KOSTADINOVA Antoaneta (BUL)	584	40.0	26.5	
④ REITZ Sandra (GER)	580	40.0	19.0	
⑤ ARUNOVIC Zorana (SRB)	577	36.5		
⑥ HECKNER Andrea Katharina (GER)	577	39.5		
⑦ STEINER Sylvia (AUT)	580	19.5		
⑧ BATSARASHKINA Vitalina (RUS)	580	24.0		
⑨ 山田 聡子(自衛隊体育学校)	574			
⑩ 佐々木千鶴(岩手県警)	563			
⑪ 小西ゆかり(飛鳥交通)	561			

50m Rifle 3-Positions Mixed Team (3/6、34チーム)

	(QS1)	(QS2)	(MM)
① (Norway 2)	871	39x 582	31x 16
STENE Jenny	437	22x 295	17x
HEGG Jon-Hermann	434	17x 287	14x
② (Germany 1)	878	42x 582	26x 8
BEER Jolyn	442	23x 292	15x
DALLINGER Maximilian	436	19x 290	11x
③ (India 1)	872	35x 581	22x 16
SADANGI Shriyanka	434	15x 292	12x
SHEORAN Akhil	438	20x 289	10x
④ (Austria 1)	871	36x 578	15x 10
KOECK Rebecca	433	15x 287	3x
RUMPLER Gernot	438	21x 291	12x
⑪ (Japan 2)	868	35x	
中口 遥(滋賀ダイハツ)	431	16x	
岡田 直也(ALSOK)	437	19x	
㉗ (Japan 1)	853	31x	
平田しおり(明治大学)	427	17x	
花川 直樹(自衛隊体育学校)	426	14x	

10m Air Pistol 60 (3/1、92名)

	(Relay1)	(Relay2)	(MM)	(GMM)
① SAURABH Chaudhary (IND)	584	38.0	42.5	16
② SCHWALD Michael (GER)	582	37.5	41.5	6
③ CHERNOUSOV Artem (-)	591	38.0	40.0	
④ LUNEV Ruslan (AZE)	582	35.5	21.0	
⑤ MUKHAMEDYANOV Vadim (-)	584	31.0		
⑥ VASERMANIS Emils (LAT)	583	32.0		
⑦ KELES Ismail (TUR)	584	23.0		
⑧ WALTER Robin (GER)	582	19.0		
⑨ 園田 吉伸(自衛隊体育学校)	577			

25m Pistol 60W (3/4、54名)

	(Relay1)	(Relay2)	(MM)	(GMM)
① LAMOLLE Mathilde (FRA)	579	20x	20	22 16
② MAJOR Veronika (HUN)	580	20x	18	20 15
③ KORAKAKI Anna (GRE)	585	27x	19	19
④ KARSCH Monika (GER)	582	19x	18	12
⑤ JEDRZEJEWSKI Camille (FRA)	582	19x	15	
⑥ SANGWAN Rhythm (IND)	582	17x	14	
⑦ 山田 聡子(自衛隊体育学校)	579	18x	6	
⑧ TEO Shun Xie (SGP)	579	16x	7	
⑨ 小西ゆかり(飛鳥交通)	576	13x		
⑩ 佐々木千鶴(岩手県警)	573	11x		

10m Air Pistol Mixed Team (3/2、44チーム)

	(Relay1)	(Relay2)	(GMM)
① (Serbia)	575	17x	50.0 17
ARUNOVIC Zorana	285		
MIKEC Damir	290		
② (Turkey 2)	577	14x	53.0 9
YILMAZ Yasemin Beyza	285		
KELES Ismail	292		
③ (Germany 2)	572	18x	51.5
HECKNER Andrea Katharina	285		
WALTER Robin	287		
④ (Greece)	572	18x	42.5
KORAKAKI Anna	292		
KORAKAKIS Dionysios	280		
⑤ (Italy 2)	575	18x	38.5
VARRICCHIO Maria	284		

25m Rapid Fire Pistol 60 (3/6、38名)

	(Relay1)	(Relay2)	(MM)	(GMM)
① QUIQUAMPOIX Jean (FRA)	585	22x	20	21 17
② LUNEV Ruslan (AZE)	579	16x	19	17 14
③ STRNAD Martin (CZE)	578	20x	16	15
④ REITZ Christian (GER)	588	26x	21	13
⑤ PETER Florian (GER)	583	19x	15	
⑥ GOWIN Sam William (GBR)	581	16x	14	
⑦ MILWEK Oskar (POL)	580	14x	10	
⑧ MAZZETTI Riccardo (ITA)	580	13x	11	
⑨ 吉岡 大(京都府警)	572	17x		

10m Air Rifle Mixed Team (3/2、51チーム)

	(Relay1)	(Relay2)	(MM)	(GMM)
① (Norway 1)	631.0	48.0	17	
DUESTAD Jeanette Hegg	315.4			
HEGG Jon-Hermann	315.6			
② (Italy 1)	630.3	51.5	15	
CECCARELLO Sofia	314.7			
SOLLAZZO Danilo Dennis	315.6			
③ (Serbia 2)	628.8	43.5		
VUKOJEVIC Teodora	315.6			

10m Air Rifle 60W (2/28、118名)

	(Relay1)	(Relay2)	(MM)	(GMM)
① MULLER Oceanne (FRA)	631.2	48.0	42.5	16
② GALASHINA Anastasiya (RUS)	630.8	39.5	41.0	14

記録集

TORRACCHI Alessio 291	NYMBURSKY Petr 434 24x 292 14x	VINERKAR Ruchita 285 190
⑥ (Japan) 573 17x 31.0	NEPEJCHAL Filip 433 18x 291 13x	PARAMANANTHAM Shri Nivetha 282 189
山田聡子 (自衛隊体育学校) 282	③ (Norway) 1318 60x 872 48x 16	② (Germany) 851 21x 571 14x 6
園田吉伸 (自衛隊体育学校) 291	HALVORSEN Ole Martin 440 23x 293 15x	REITZ Sandra 287 193
⑦ (United States 2) 575 17x 19.5	LARSEN Henrik 439 19x 290 17x	HECKNER Andrea Katharina 283 190
UPTAGRAFFT Sandra 291	HEGG Jon-Hermann 439 18x 289 16x	WIMMER Carina 281 188
HALL James 284	④ (Poland) 1306 59x 872 45x 6	③ (Chinese Taipei) 851 21x 567 15x 16
⑧ (Thailand 1) 573 15x 18.0	KOWALEWICZ Maciej 436 23x 296 19x	WU Chia Ying 287 191
PRUCKSAKORN Tanyporn 286	BARTNIK Tomasz 436 18x 292 15x	TIEN Chia Chen 284 190
SUTIVIRUCH Noppadon 287	LUKASZYK Rafal 434 18x 284 11x	YU Ai Wen 280 186
	⑩ (Japan) 1300 53x	④ (Singapore) 849 22x 565 15x 8
10m Air Rifle Team Men (3/2、19チーム)	岡田 直也 (ALSOK) 437 19x	TEO Shun Xie 285 193
(QS1) (QS2) (MM)	遠藤 雅也 (名阪急配) 432 18x	TEH Xiu Hong MAK 283 191
① (Croatia) 941.6 629.9 16	花川 直樹 (自衛隊体育学校) 431 16x	Amanda Sao Keng 281 181
MARICIC Miran 314.6 210.9		⑥ (Japan) 846 20x 561 10x
GORSA Peter 313.9 210.5	10m Air Rifle Team Women (3/2、20チーム)	山田 聡子 (自衛隊体育学校) 287 190
PETANJEK Borna 313.1 208.5	(QS1) (QS2) (MM)	小西ゆかり (飛鳥交通) 283 187
② (Italy) 937.5 625.5 10	① (Hungary) 944.6 629.2 17	佐々木千鶴 (岩手県警) 276 184
SOLLAZZO Danilo Dennis 315.6 211.0	MESZAROS Eszter 315.6 211.4	
BACCI Lorenzo 311.6 208.2	DENES Eszter 315.1 209.3	25m Pistol Team Women (3/6、7チーム)
ARMIRAGLIO Riccardo 310.3 206.3	BAJOS Gitta 313.9 208.5	(QS1) (QS2) (MM)
③ (Czech Republic) 938.1 624.2 16	② (Norway) 951.0 630.4 13	① (India) 872 28x 441 15x 17
NEPEJCHAL Filip 313.0 209.1	DUESTAD Jeanette Hegg 318.2 210.6	SARNOBAT Rahi 293 13x 149 6x
ENTRICHEL Ales 313.0 208.8	STONE Jenny 316.4 210.5	SANGWAN Rhythm 295 8x 147 3x
PRIVRATSKY Jiri 312.1 206.3	LOVSETH Mari Bardseng 316.4 209.3	SINGH Esha 284 7x 145 6x
④ (Austria) 944.7 625.4 14	③ (Singapore) 941.4 628.6 16	② (Singapore) 881 44x 441 12x 13
THUM Andreas 316.3 209.5	HO Xiu Yi 314.3 211.7	TEO Shun Xie 294 15x 150 4x
STREMPFL Martin 314.4 208.4	TAN Qian Xiu Adele 314.3 208.6	TEH Xiu Hong 295 17x 147 4x
DIEM Patrick 314.0 207.5	TAN Fernel Qian Ni 312.8 208.3	TAN Ling Chiao Nicole 292 12x 144 4x
⑦ (Japan) 939.1 622.9	④ (Poland) 942.0 628.3 8	③ (Chinese Taipei) 847 19x 429 11x 17
島田 敦 (自衛隊体育学校) 314.5 208.2	STANKIEWICZ Aneta 314.6 210.4	WU Chia Ying 285 5x 146 6x
岡田 直也 (ALSOK) 312.6 207.6	KOCHANSKA Natalia 314.1 210.0	YU Ai Wen 278 6x 145 5x
遠藤 雅也 (名阪急配) 312.0 207.1	PIOTROWSKA Julia Ewa 313.3 207.9	TIEN Chia Chen 284 8x 138 0x
	⑨ (Japan) 937.1	④ (Japan) 862 26x 429 8x 15
50m Rifle 3-Positions Team Men (3/5、17チーム)	野畑 美咲 (大分県立由布高校) 315.4	小西ゆかり (飛鳥交通) 293 11x 148 2x
(QS1) (QS2) (MM)	平田 しおり (明治大学) 312.7	佐々木千鶴 (岩手県警) 280 9x 143 4x
① (Austria) 1306 55x 875 42x 16	中口 遥 (滋賀ダイハツ) 309.0	山田 聡子 (自衛隊体育学校) 289 6x 138 2x
MATHIS Thomas 439 19x 296 16x		
RUMPLER Gernot 436 19x 293 15x	10m Air Pistol Team Women (3/2、9チーム)	
THUM Andreas 431 17x 286 11x	(QS1) (QS2) (MM)	
② (Czech Republic) 1305 66x 875 41x 6	① (India) 856 27x 574 20x 16	
PRIVRATSKY Jiri 438 24x 292 14x	SINGH Esha 289 195	

クウェート日本国交樹立60周年記念共生射撃大会

2022年3月21日(月) 会場：日本(NTC射場)、クウェート

10m Air Rifle Mixed Team	③ (KWT 1) Ali almutairi 206.5 412.1 16	⑥ (KWT 2) Atef aldosiri 209.3 407.6
(決勝)	Alanoud Alzefiri 205.6	Yara alkhalaf 198.3
① (Japan 1) 岡田 直也 207.3 416.7 17	④ (Japan 3) 中口 遥 209.2 414.8 12	⑦ (KWT 3) Saud Alsubaie 199.2 404.8
瀬賀亜希子 209.4	岡田 和也 205.6	Reem al Enzi 205.6
② (Japan 2) 松本 崇志 207.8 418.8 11	⑤ (Japan 4) 山田 咲来 207.6 411.8	⑧ (KWT 4) Naser Alajmi 200.8 397.6
水田 光夏 211	古賀 貴裕 204.2	Fatema Ali 196.8

ピストル (25m) ナショナルチーム選考会④

2022年3月5日(土)～6日(日) 東京都・NTC イースト射撃場

25m Rapid Fire Pistol 60M	⑥ 島中 祐輝 564 12x	25m Pistol 60W	⑥ 佃 愛音 549 9x
① 森 栄太 577 18x	⑦ 飯村 嘉一 564 10x	① 佐藤 明子 571 14x	⑦ 財津 美加 537 11x
② 市川 広義 572 13x	⑧ 本村 将紀 551 8x	② 星野 優奈 566 10x	⑧ 佐藤 琳 530 4x
③ 堀内 龍哉 571 11x	⑨ 酒井 達也 533 6x	③ 細野裕理子 565 11x	
④ 武内 響 568 13x	⑩ 生野 明利 503 4x	④ 村上 香穂 558 10x	
⑤ 久松 慶太 565 13x		⑤ 相澤ひかる 557 10x	

ワールドユニバーシティゲームズ・ジュニアWC (ズール) 選考会兼ライフル (10m/50m) ナショナルチーム選考記録会

2022年3月19日(土)～20日(日) 栃木県・栃木県ライフル射撃場

10m Air Rifle 60

① 岡田 直也 (ALSOK)	628.1
② 島田 敦 (自衛隊体育学校)	627.9
③ 堀入 龍哉 (埼玉県)	625.8
④ 花川 直樹 (自衛隊体育学校)	623.9
⑤ 松本 崇志 (自衛隊体育学校)	621.6
⑥ 八川 綾佑 ((株)デンケン)	620.6
⑦ 岩崎 貴文 ((公財)滋賀県スポーツ協会)	619.5
⑧ 小久保雄太 (明治大学)	619.0
⑨ 田中 貴久 (東京都)	617.8
⑩ 篠原 章宏 (福井県スポーツ協会)	617.7
⑪ 山下 敏和 (自衛隊体育学校)	617.6
⑫ 橋本 昂希 (法政大学)	617.5
⑬ 橋爪 一馬 ((公財)岐阜県スポーツ協会)	617.1
⑭ 野口 優太 (J-MAGIC)	617.0
⑮ 松浦 悠斗 (岐阜県ライフル射撃協会)	616.9
⑯ 池邊 龍平 (皇學館大学)	616.2
⑰ 長田 好生 ((株)富創)	616.1
⑱ 大塩 勇斗 (明治大学)	614.8
⑲ 松島 朔矢 (大垣日本大学高校)	614.3
⑳ 中島 謙心 (国際学院高等学校)	613.4
㉑ 山田 崇太 (岐阜県ライフル射撃協会)	612.0
㉒ 岡田 拓磨 (埼玉県ライフル射撃協会)	611.8
㉓ 大場仁千弥 (明治大学)	611.0
㉔ 浅木 良太 (兵庫県)	610.5
㉕ 梅木 竜一 (日本大学)	610.3
㉖ 山村 圭佑 (兵庫県ライフル射撃協会)	609.8
㉗ 関口 慈英 (国際学院高校)	608.7
㉘ 江澤 誠 (早稲田大学)	608.4
㉙ 宮倉 大輔 (埼玉県)	607.9
㉚ 河本 弦希 (鶯谷高校)	606.4
㉛ 浜田 有都 (日本大学)	606.3
㉜ 山本 拓生 ((公財)三重県スポーツ協会)	605.8

50m Rifle 3-Positions 60

① 山下 敏和 (自衛隊体育学校)	582 27x
② 篠原 章宏 (福井県スポーツ協会)	581 31x
③ 山本 拓生 ((公財)三重県スポーツ協会)	573 23x
④ 松本 崇志 (自衛隊体育学校)	572 23x
⑤ 磯部 直樹 (大分県)	572 22x
⑥ 島田 敦 (自衛隊)	572 20x
⑦ 岡田 直也 (ALSOK)	571 20x
⑧ 宮倉 大輔 (埼玉県)	571 18x
⑨ 花川 直樹 (自衛隊体育学校)	571 17x
⑩ 長田 好生 ((株)富創)	567 16x
⑪ 大塩 勇斗 (明治大学)	566 20x
⑫ 池邊 龍平 (皇學館大学)	564 19x
⑬ 大場仁千弥 (明治大学)	564 18x
⑭ 佐々木健人 (東京都)	562 17x
⑮ 岡田 拓磨 (埼玉県ライフル射撃協会)	560 16x
⑯ 岡田 諒 (東京都)	558 9x
⑰ 八川 綾佑 ((株)デンケン)	557 11x
⑱ 橋本 昂希 (法政大学)	554 15x
⑲ 橋爪 一馬 ((公財)岐阜県スポーツ協会)	0 0x

10m Air Pistol 60

① 岩佐 正貴 (埼玉県)	576 12x
② 森川 清司 (広島県警察)	574 15x
③ 野中 靖浩 (大阪府警察)	572 16x
④ 園田 吉伸 (体育学校)	565 14x
⑤ 吉村 和徳 (同志社大学)	564 12x
⑥ 金坂 春杜 (自衛隊体育学校)	563 17x
⑦ 武内 響 (埼玉県)	563 9x
⑧ 佐竹 優悟 (同志社大学)	562 8x
⑨ 佐藤 優磨 (千葉県警察)	561 12x
⑩ 山口 航輝 (同志社大学)	561 12x
⑪ 弘田 祐介 (高知県ライフル射撃協会)	560 11x
⑫ 鐘分 亮次 (千葉県警察)	559 11x
⑬ 高橋 駿平 (秋田県)	558 8x
⑭ 蟹江 良平 (警視庁)	557 12x
⑮ 宮脇 正人 (大阪歯科大学)	557 11x
⑯ 清水 達哉 (岐阜県)	556 15x
⑰ 松田健太郎 (日本大学)	555 8x
⑱ 影井 弘雄 (埼玉県ライフル射撃協会)	554 10x
⑲ 遠藤太香雄 (京都府ライフル射撃協会)	554 9x
㉑ 工藤 湧士 (豊生商事株式会社)	554 8x
㉒ 佐藤 陸 (日本大学)	550 9x
㉓ 田村 泰達 (千葉大学)	548 13x
㉔ 小柳 勇生 (福岡県)	548 7x
㉕ 高橋 勇氣 (警視庁)	547 8x
㉖ 田中 洋平 (警視庁)	547 8x
㉗ 永井 良明 (東洋大学)	532 5x
㉘ 鬼丸凜太郎 (神奈川県ライフル射撃協会)	502 8x

10m Air Rifle 60W

① 平田しおり (明治大学)	626.8
② 三浦 莉桜 (明治大学)	626.2
③ 鈴木 志佳 (早稲田大学)	625.4
④ 堀之内 愛 (日本大学)	624.7
⑤ 一ノ渡 桜 (アマノ株式会社)	624.3
⑥ 前田 留那 (埼玉県)	623.4
⑦ 中口 遥 (滋賀ダイハツ販売株式会社)	622.6
⑧ 清水 綾乃 (自衛隊体育学校)	622.1
⑨ 西 千里 (日本大学)	621.7
⑩ 野畑 美咲 (大分県立由布高等学校)	621.2
⑪ 山田 咲来 (エリートアカデミー)	620.9
⑫ 平野 真歩 (同志社大学)	620.5
⑬ 三好愛佳理 (明治大学)	619.9
⑭ 川原 楓 (埼玉県)	619.8
⑮ 渡部奏乃音 (明治大学)	619.0
⑯ 高橋 佳伶 (三重県)	618.8
⑰ 田邊 侘奈 (立命館大学)	618.6
⑱ 高木 葵 (中央大学)	617.8
⑲ 河本 理桜 (明治大学)	617.6
㉑ 嘉部 恋 (西武学園文理高校)	616.1
㉒ 松本 靖世 (いちご(株))	615.8
㉓ 藤枝 乙葉 (三重県ライフル射撃協会)	615.7
㉔ 千葉 朔海 ((株)日立ビルシステム)	614.1
㉕ 泉館 玲香 (明治大学)	613.5

50m Rifle 3-Positions 60W

① 松本 靖世 (いちご(株))	581 23x
② 高橋 佳伶 (三重県)	580 25x
③ 前田 留那 (埼玉県)	580 20x
④ 碓石 真衣 ((株)日立システムズ)	579 26x
⑤ 平田しおり (明治大学)	578 21x
⑥ 西 千里 (日本大学)	578 18x
⑦ 千葉 朔海 ((株)日立ビルシステム)	577 25x
⑧ 川原 楓 (埼玉県)	577 20x
⑨ 中口 遥 (滋賀ダイハツ販売株式会社)	385 19x
⑩ 堀之内 愛 (日本大学)	576 22x
⑪ 河本 理桜 (明治大学)	575 17x
⑫ 清水 綾乃 (自衛隊体育学校)	573 20x
⑬ 渡部奏乃音 (明治大学)	572 15x
⑭ 中山 結愛 (学連)	570 19x
⑮ 一ノ渡 桜 (アマノ株式会社)	568 15x
⑯ 山田 優子 (セキショウグループ)	562 20x
⑰ 齋藤 風音 (株式会社たねや)	556 15x
⑱ 鈴木 志佳 (早稲田大学)	555 16x
⑲ 杉山 瑞季 (早稲田大学)	554 13x

10m Air Pistol 60W

① 相澤ひかる (警視庁)	568 17x
② 山田 聡子 (自衛隊体育学校)	567 15x
③ 佐々木千鶴 (岩手県警察)	567 13x
④ 佐藤 明子 (警視庁)	565 8x
⑤ 小西ゆかり (飛鳥交通株式会社)	563 15x
⑥ 村上 香穂 (奈良県ライフル射撃協会)	561 12x
⑦ 阿部 花論 (土佐女子高校)	559 8x
⑧ 財津 美加 (大分県警察)	558 10x
⑨ 佃 愛音 (広島県ライフル射撃協会)	556 15x
⑩ 中里 夕雅 (警視庁)	555 11x
⑪ 星野 優奈 (警視庁)	554 9x
⑫ 山田 実花 (北海道)	552 10x
⑬ 相田 愛望 (茨城県警察)	552 5x
⑭ 東 晴七 (愛媛県ライフル射撃協会)	546 9x
⑮ 佐藤 琳 (早稲田大学)	544 5x
⑯ 千葉 叶美 (日本大学)	542 8x
⑰ 小西 伶奈 (国際学院高校)	539 8x
⑱ 細野裕理子 (警視庁)	527 5x
⑲ 岡部 朱里 (同志社大学)	525 8x
㉑ 三浦 寿花 (秋田県ライフル射撃協会)	525 7x
㉒ 木下 潮音 (和歌山県)	516 4x

2021年度第41回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会

2022年3月26日(土)～27日(日) 三重県・三重県営ライフル射撃場

10m Air Rifle 60J

①吉野 拓海 (千葉黎明)	611.2	34X	242.6
②末次 皇輝 (文徳)	608.2	31X	239.0
③河本 弦希 (鶯谷)	614.0	36X	219.3
④三宅 真人 (中津東)	599.6	27X	199.0
⑤大橋 拓海 (明大中野)	605.5	30X	177.9
⑥千葉 翔太 (城南)	599.0	25X	157.1
⑦和田 唯我 (興南)	598.0	23X	135.1
⑧山田 崇太 (済美)	610.1	38X	113.4
⑨竹田 翼 (栄北)	595.2	25X	
⑩工藤 達也 (松西勝浦)	588.2	22X	
⑪中安 琉翔 (北科大高)	586.9	14X	
⑫辻村 友希 (加計高)	585.8	21X	
⑬加納 万里 (水口)	585.8	21X	
⑭見好 瑛修 (野田学園)	585.2	18X	
⑮湊 祐貴 (明大中野)	584.6	23X	
⑯宮内 晴巨 (北陸)	584.2	19X	
⑰椎野 広大 (松西勝浦)	582.8	14X	
⑱丹羽康太郎 (久居)	577.0	12X	
⑲松本 健吾 (水口)	576.3	14X	
⑳大隅 望夢 (野田学園)	575.0	14X	
㉑横井 優斗 (箕面自由)	554.1	8X	
㉒山本 楓斗 (金沢辰巳丘)	543.4	6X	

BR60J

①森 涼太 (長崎南)	621.4	249.5
②山田 脩人 (小松島)	622.2	249.0
③富岡 亮太 (栄北)	621.1	226.3
④榎 春音 (秋田令和)	624.6	204.5
⑤関海 唯斗 (鬼怒商業)	623.6	182.0
⑥福岡 桂吾 (伊予農)	624.1	161.5
⑦清水 達成 (済美)	622.7	141.3
⑧後藤 琉希 (滋賀学園)	621.6	120.4
⑨戸田 陽翔 (小松島)	619.6	
⑩箱崎 晋一 (立正大澁南)	618.6	
⑪木村 伊織 (仙台育英)	618.0	
⑫石田 和久 (佐賀学園)	617.9	
⑬大山 誠道 (国際学院)	617.3	
⑭上田 大貴 (加計高)	616.4	
⑮松村 颯真 (関有知高校)	616.1	
⑯大田 陽生 (滋賀学園)	616.0	
⑰野嶽 孝太 (鳥取城北)	615.8	
⑱坂ノ下飛龍 (鹿実)	613.7	
⑲重平 大智 (南砺福野)	612.9	
⑳澤 宏樹 (京都廣学館)	606.5	
㉑金野 志生 (久居)	603.8	

㉒森田 一颯 (明大中野)	601.9
㉓古木 翔大 (科学技術)	589.2

BP60J

①宮川 皓平 (水口)	536	9X	228.6
②佐藤 宗哉 (由布)	541	5X	228.3
③鎌田 耀平 (立正大澁南)	543	9X	205.3
④井口 聡太 (北陸)	549	5X	184.5
⑤田村 響 (生文大高)	541	7X	165.6
⑥福永 涼介 (国際学院)	554	11X	144.9
⑦椎野 杏真 (国際学院)	547	6X	126.1
⑧山崎 竜成 (伊予農)	535	5X	103.5
⑨須藤 巧 (日大東北)	532	10X	
⑩吉田 真 (園部)	530	9X	
⑪大亀 数真 (伊予農)	526	5X	
⑫大原 士侑 (南砺福野)	525	5X	
⑬鶴田 昂也 (立正大澁南)	521	3X	
⑭田中 雄翔 (科学技術)	506	3X	
⑮榎本 大聖 (済美)	490	7X	
⑯兼松 亘生 (関有知高校)	482	2X	
⑰服部 颯也 (久居)	358	0X	

10m Air Rifle 60WJ

①野村 奈生 (別府翔青)	615.6	39X	247.9
②山田 咲来 (成立)	626.4	51X	247.0
③長坂 夢 (阿南光)	617.0	41X	226.1
④嘉部 恋 (西武文理)	616.3	37X	203.7
⑤小山 音寧 (関有知高校)	615.6	37X	181.6
⑥熊尾 弥月 (松西勝浦)	610.5	38X	159.6
⑦仲間 大花 (N高)	607.2	28X	138.8
⑧早坂 彩花 (山形城北)	605.8	28X	117.5
⑨村松 佳香 (明誠)	604.6	32X	
⑩中島 凜 (米子東)	604.0	32X	
⑪澤田 愛華 (南砺福野)	603.5	30X	
⑫橋本 心優 (西武文理)	603.3	29X	
⑬板橋 杏 (ありあけ新世)	602.3	28X	
⑭安達 芹香 (南砺福野)	601.3	31X	
⑮藏重 碧 (野田学園)	600.0	22X	
⑯有本 佳歩 (鳥取敬愛)	597.9	22X	
⑰細見 和 (水口)	597.6	22X	
⑱須藤 彩寧 (英理女子)	595.1	25X	
⑲山下 未玖 (松西勝浦)	591.2	20X	
⑳木下 絵蓮 (粉河)	591.2	19X	
㉑加藤 桃絵 (久居)	590.6	20X	
㉒西山 実菜 (水口)	589.6	21X	
㉓松澤 美佑 (栄北)	583.9	17X	

㉔大竹くるみ (南陽)	582.4	17X
-------------	-------	-----

BR60JW

①竹下 愛美 (志学館)	625.2	252.7
②折田 采花 (水口)	628.8	249.0
③乾 紗綺 (阿南光)	628.4	226.9
④山崎わかな (水口)	630.3	206.4
⑤橋本もえ花 (真岡北陸)	624.3	184.9
⑥岡田 美月 (済美)	627.9	164.0
⑦小牧 紗華 (鹿実)	623.1	142.1
⑧松尾 好梨 (佐賀清和)	622.7	121.4
⑨中津美桜乃 (城南)	622.5	
⑩下谷 美鷲 (郡上北)	622.2	
⑪平田 夏寧 (南陽)	620.6	
⑫中村 心紅 (滋賀学園)	618.1	
⑬山崎 梨来 (久居)	618.1	
⑭木下 和奏 (加計高)	617.0	
⑮木暮 裕菜 (明和県央)	616.3	
⑯田代 愛莉 (科学技術)	615.1	
⑰佐藤 麻緒 (南陽)	615.0	
⑱松尾明優奈 (立正大澁南)	613.4	
⑲荒木 百寧 (実務)	612.3	
⑳西柳 来未 (取手第一)	605.7	
㉑伊藤 千華 (足羽)	604.0	
㉒田坂 零曄 (日野)	589.5	

BP60JW

①山元 和 (鹿実)	561	10X	233.8
②阿部 花論 (土佐女子)	552	12X	228.2
③石井 天菜 (飛鳥未来)	540	7X	206.3
④木藤 舞 (済美)	539	4X	187.6
⑤玉井 菜海 (加計高)	534	5X	167.6
⑥山本 眞綺 (立正大澁南)	532	5X	148.1
⑦山崎 一葉 (高知高校)	541	3X	129.3
⑧武市 愛理 (仙台育英)	538	8X	108.3
⑨仮名柊月空 (取手第一)	528	7X	
⑩青野 小春 (取手第一)	525	6X	
⑪村田 薫美 (水口)	522	10X	
⑫下野 光咲 (鶯谷)	503	4X	
⑬東 鈴葉 (久居)	500	1X	
⑭加藤 麻那 (北科大高)	497	8X	
⑮鎌塚 友結 (大和中央)	483	4X	
⑯中山 穂果 (足羽)	482	2X	
⑰今井 怜 (南砺福野)	457	2X	

育成ナショナルチーム (ユース・カデット・ノービス) 選考記録会 (AR/AP) ①

2022年3月27日(日) 神奈川県・伊勢原射撃場

10m Air Rifle 60J

①	キャンピルウィリアム海音 (横須賀学院中学校)	602.7
②	横山 巧 (岐阜西中学校)	593.9
③	丸本 敦士 (港南中学校)	593.4
④	永野 祥嵩 (大垣市立星和中学校)	591.2
⑤	小林 弥来 (桃山学院中学校)	576.2
⑥	糸井川 司 (岐阜市立加納中学校)	572.8

10m Air Rifle 60WJ

①	平野 佳那 (岐阜県済美高校)	614.2
②	入江 瑞枝 (国際学院中学校)	603.5
③	阿部暁梨沙 (三川町立三川中学校)	593.0
④	土井菜々花 (和歌山大学教育学部附属中学校)	591.6

10m Air Pistol 60W

①	山田 実花 (北海道科学大学高校)	552.5x
②	東 晴七 (愛媛県立宇和島南中等教育学校)	548.8x
③	三浦 寿花 (秋田県城南中学校)	546.6x
④	野崎 美羽 (上尾市立東中学校)	527.9x
⑤	鏡 愛 (山形城北高校)	492.5x
⑥	齋藤 梨衣 (星槎国際横浜高校)	479.2x

10m Air Pistol 60J

①	横田 大和 (埼玉県吉見町立中学校)	540.3x
②	鬼丸凜太郎 (横須賀市立坂本中学校)	517.5x

アジア大会・ワールドカップバクサー選考会 (10mAP/25m)

2022年4月10日(日)～4月13日(水) 東京都・NTC イースト射撃場

10m Air Pistol 60

①	森川 清司	576	16x
②	園田 吉伸	573	19x
③	金坂 春杜	572	16x
④	野中 靖浩	571	19x
⑤	岩佐 正貴	570	14x
⑥	横山 博登	568	9x
⑦	佐藤 優磨	567	20x
⑧	武内 響	567	12x
⑨	蟹江 良平	567	8x
⑩	影井 弘雄	562	13x
⑪	清水 達哉	562	9x
⑫	松澤 考祐	561	14x

⑬ 三浦 健一

⑬	三浦 健一	561	10x
⑭	鐘分 亮次	560	13x
⑮	高橋 駿平	559	15x
⑯	高橋 勇氣	555	10x
⑰	木原 幹夫	554	9x
⑱	工藤 湧士	552	11x
⑲	田中 洋平	543	10x
⑳	松田健太郎	538	6x
㉑	田村 泰達	530	7x

10x

⑬	飯村 嘉一	571	15x
⑭	市川 広義	571	14x
⑮	岩田 泰輝	568	13x
⑯	畠中 祐輝	564	12x
⑰	金坂 春杜	560	10x
⑱	武内 響	555	9x
⑲	本村 将紀	549	9x
㉑	久松 慶太	547	11x

15x

⑬	佐々木千鶴	564	15x
⑭	村上 香穂	561	9x
⑮	佐藤 明子	558	12x
⑯	財津 美加	556	9x
⑰	佃 愛音	555	8x
⑱	中里 夕雅	554	10x
⑲	佐藤 琳	549	9x
㉑	星野 優奈	549	4x
㉒	小西 伶奈	544	8x
㉓	細野裕理子	533	6x

564 15x

⑲	財津 美加	583	19x
⑳	小西ゆかり	579	16x
㉑	山田 聡子	576	12x
㉒	北嶋那美子	570	13x
㉓	相澤ひかる	565	11x
㉔	佐藤 明子	562	15x
㉕	星野 優奈	562	15x
㉖	細野裕理子	557	9x
㉗	村上 香穂	556	8x
㉘	佐藤 琳	553	6x
㉙	佃 愛音	535	10x

⑲ 池津 美加

⑲	池津 美加	583	19x
⑳	小西ゆかり	579	16x
㉑	山田 聡子	576	12x
㉒	北嶋那美子	570	13x
㉓	相澤ひかる	565	11x
㉔	佐藤 明子	562	15x
㉕	星野 優奈	562	15x
㉖	細野裕理子	557	9x
㉗	村上 香穂	556	8x
㉘	佐藤 琳	553	6x
㉙	佃 愛音	535	10x

25m Rapid Fire Pistol 60M

①	吉岡 大	587	20x
②	森 栄太	578	23x

10m Air Pistol 60W

①	山田 聡子	575	23x
②	相澤ひかる	572	14x
③	小西ゆかり	566	17x

25m Pistol 60W

①	佐々木千鶴	585	15x
---	-------	-----	-----

アジア大会・ワールドカップバクサー選考会 (10mAR/50m)

2022年4月16日(土)～17日(日) 埼玉県・長瀬射撃場

10m Air Rifle 60

①	遠藤 雅也 (名阪急配株式会社)	627.7
②	松本 崇志 (自衛隊体育学校)	625.4
③	篠原 章宏 (福井県)	624.5
④	岡田 直也 (ALSOK)	624.5
⑤	島田 敦 (自衛隊体育学校)	623.8
⑥	山下 敏和 (自衛隊体育学校)	622.3
⑦	塩入 龍哉 (自衛隊体育学校)	621.9
⑧	花川 直樹 (自衛隊体育学校)	620.3
⑨	山本 拓生 ((公財)三重県スポーツ協会)	619.9
⑩	吉川 和宏 (神村学園)	619.5
⑪	三島 裕介 (明大附属中野中学高等学校)	619.4
⑫	大塩 勇斗 (明治大学)	618.6
⑬	池邊 龍平 (皇學館大学)	617.3
⑭	岩崎 貴文 ((公財)滋賀県スポーツ協会)	617.1
⑮	長田 好生 (株)富創	615.4
⑯	橋本 昂希 (法政大学)	615.2
⑰	八川 綾佑 (株)デンケン	614.7
⑱	田中 貴久 (東京都ライフル射撃協会)	614.3
⑲	松島 朔矢 (日本大学)	611.6
⑳	中島 謙心 (日本大学)	611.2
㉑	浅木 良太 (兵庫県)	610.3
㉒	小久保雄太 (明治大学)	609.6
㉓	木村 圭佑 (兵庫県ライフル射撃協会)	609.5
㉔	岡田 拓磨 (埼玉県ライフル射撃協会)	608.2

㉕	鈴木 航太 (明治大学)	608.1
㉖	青山 敬志 (大多喜ガス株式会社)	607.5
㉗	清川 佑介 (鹿児島県)	599.8
㉘	キャンピル W 海音 (神奈川県)	599.2
㉙	吉野 拓海 (千葉県ライフル射撃協会)	594.4

50m Rifle 3-Positions 60

①	遠藤 雅也 (名阪急配株式会社)	587
②	松本 崇志 (自衛隊体育学校)	584
③	八川 綾佑 (株)デンケン	580
④	篠原 章宏 (福井県)	580
⑤	岡田 直也 (ALSOK)	579
⑥	橋爪 一馬 (滋賀県立草津高等学校 (教))	578
⑦	花川 直樹 (自衛隊体育学校)	578
⑧	山下 敏和 (自衛隊体育学校)	578
⑨	島田 敦 (自衛隊体育学校)	577
⑩	三島 裕介 (明大附属中野中学高等学校)	575
⑪	大塩 勇斗 (明治大学)	575
⑫	長田 好生 (株)富創	574
⑬	中村 優汰 (株)新進	574
⑭	塩入 龍哉 (自衛隊体育学校)	573
⑮	宮倉 大輔 (埼玉県)	573
⑯	信田 健介 (神奈川県)	571
⑰	山本 拓生 ((公財)三重県スポーツ協会)	571
⑱	吉川 和宏 (神村学園)	570

⑲	池邊 龍平 (皇學館大学)	568
⑳	佐々木健人 (東京都)	568
㉑	清川 佑介 (鹿児島県)	564
㉒	岩崎 貴文 ((公財)滋賀県スポーツ協会)	564
㉓	岡田 拓磨 (埼玉県ライフル射撃協会)	560
㉔	橋本 昂希 (法政大学)	557
㉕	谷川 諒 (東京都)	555
㉖	小久保雄太 (明治大学)	555

10m Air Rifle 60W

①	中口 遥 (滋賀ダイヤ販売株式会社)	629.7
②	清水 綾乃 (自衛隊体育学校)	627.0
③	嘉部 恋 (西武学園文理高校)	625.2
④	一ノ渡 桜 (アマノ株式会社)	624.3
⑤	平田しおり (ALSOK)	624.3
⑥	松本 靖世 (いちご (株))	624.3
⑦	堀之内 愛 (日本大学)	624.0
⑧	鈴木 志佳 (自衛隊体育学校)	623.8
⑨	前田 留那 ((公財)新館市文化スポーツ振興公社)	623.6
⑩	野畑 美咲 (明治大学)	622.0
⑪	平野 真歩 (同志社大学)	621.5
⑫	三浦 莉桜 (明治大学)	620.9
⑬	田邊 伶奈 (立命館大学)	620.6
⑭	渡部奏乃音 (明治大学)	620.2
⑮	新里葉津紀 (鹿児島県ライフル射撃協会)	618.5

⑩ 西 千里 (日本大学)	618.3	⑳ 平野 佳那 (済美高等学校)	604.8	㉑ 一ノ渡 桜 (アマノ株式会社)	573 22x
⑪ 山田 咲来 (エリートアカデミー)	617.2	㉒ 木下 絵蓮 (和歌山県)	599.3	⑩ 西 千里 (日本大学)	573 21x
⑫ 柳澤 灯 (日本大学)	616.8			⑪ 三好愛佳理 (明治大学)	571 16x
⑬ 川原 楓 (自衛隊体育学校)	616.1	50m Rifle 3-Positions 60W		⑫ 千葉 朔海 ((株)日立ビルシステム)	571 20x
⑭ 高橋 佳伶 (三重県)	615.8	① 松本 靖世 (いちご (株))	584 31x	⑬ 渡部奏乃音 (明治大学)	570 20x
⑮ 杉山 瑞季 (早稲田大学)	615.1	② 平田しおり (ALSOK)	584 32x	⑭ 劉 炫慈 (東京都)	568 15x
⑯ 井浦 一希 (如水会 今村病院)	614.7	③ 中口 遥 (滋賀ダイハツ販売株式会社)	582 28x	⑮ 高橋 佳伶 (三重県)	567 17x
⑰ 藤枝 乙葉 (三重県ライフル射撃協会)	614.6	④ 清水 綾乃 (自衛隊体育学校)	580 24x	⑯ 鈴木 志佳 (自衛隊体育学校)	566 18x
⑱ 泉館 玲香 (明治大学)	614.6	⑤ 新里葉津紀 (鹿児島県ライフル射撃協会)	579 26x	⑰ 山田 優子 (セキショウグループ)	565 18x
㉑ 千葉 朔海 ((株)日立ビルシステム)	613.8	⑥ 川原 楓 (自衛隊体育学校)	578 25x	⑱ 田邊 伶奈 (立命館大学)	564 21x
㉒ 村松 佳香 (藤枝明誠高等学校)	611.2	⑦ 堀之内 愛 (日本大学)	577 25x	⑲ 杉山 瑞季 (早稲田大学)	559 18x
㉓ 三好愛佳理 (明治大学)	608.8	⑧ 前田 留那 ((公財) 朝霞市文化スポーツ振興公社)	574 17x	㉑ 鶴飼 風音 (株式会社たねや)	556 15x
㉔ 劉 炫慈 (東京都)	605.9			㉒ 井浦 一希 (如水会 今村病院)	548 10x

日本全国へ販売設置を致します。

■Meyton(マイトン)電子標的システム



Meyton電子標的の特徴：

- ・ 赤外線バリヤを通過した位置を測定
- ・ センターは常に一定
- ・ 測定精度は1/100mm
- ・ ワークステーションによる一元管理
- ・ 1台から利用可能
- ・ 10m, 50m競技用 (25mは別製品)
- ・ 測定用消耗品は不要

Meyton(マイトン)電子標的導入射撃場 (順不同)：

新潟県立胎内ライフル射撃場 (10m, 50m)、茨城県菅ライフル射撃場 (10m, 50m)、福井県立ライフル射撃場 (10m, 50m)、
 神奈川県立伊勢原ライフル射撃場 (10m, 50m)、くりはま花の国エアライフル場 (10m)、宮城県ライフル射撃場 (10m, 50m)、
 沖縄県ライフル射撃場 (10m, 50m)、慶應義塾大学 (50m)、中央大学 (50m)、日本大学 (10m, 50m)、明治大学 (10m)、
 その他高校・大学多数導入 ※大阪府能勢町ライフル射撃場 (10m, 50m): メンテナンスのみ (國友銃砲火薬店様導入)

有限会社 三和管財

〒277-0862 千葉県柏市篠籠田1316 TEL: 04-7143-6122 Fax: 04-7147-0745
 Meyton社製品 日本ディストリビューター / Noptel社製品 輸入代理店

ビームライフルで射撃スポーツを始めましょう!

BEAM·RIFLE SHOOTING SYSTEM

ビーム・ライフルの特徴

- ビーム・ライフル/ピストルの光源はキセノン管発光で、人体には影響のない安全な光です。
- 標的装置の設置は水銀灯、白熱灯、蛍光灯などを使用する体育館や教室で利用できます。



ビームライフル ジュニア用 型式 MBR-203J

この銃は 3.0 k g と軽量で、全長も小中学生などに合わせた入門者向けのモデルです。バットプレートは体格に合わせて、前後に調整できます。専用バッテリー、サイトセット、ハードケースが付属します。



ビーム・ライフル 型式 MBR-201

この銃はチークピースの調整を容易にした、バランスー付の競技者向けのモデルです。

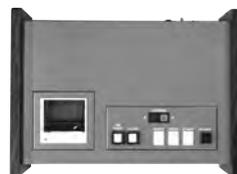
ビームライフル・システム



ターゲット装置
型式 MT-201



ディスプレイ装置
型式 MD-201L



プリンター装置
型式 MP-216

〔 製造・発売元 〕

—KOTO— 興東電子株式会社

本社 〒306-0232 茨城県古河市東牛谷 603-2

電話 0280-98-3387 FAX 0280-98-1180

<http://www.kohto.co.jp> E-mail: info@kohto.co.jp

第1回銀座銃砲店通信大会

懸賞総額100万円!!

---各種目上位入賞者---

1位:8万円分 / 2位:4万円分 / 3位:2万円分

---前後賞---

弊社社員の前後に位置する選手(各種目)
前にいる選手:3万円分 / 後ろにいる選手:2万円分

---特別賞---

「#銀座銃砲店」「#銀通」
をつけSNSに大会風景、結果などの画像を投稿し
大会を盛り上げてくれた方:2,000円分×25名

エントリーは弊社ホームページ掲載中の
Googleフォームよりお願いします!!

6月3日(金)~6月5日(日)

詳細はFacebook・Instagram・Twitterにて随時更新!



Facebook



Twitter



Instagram



LINE

株式会社
銀座銃砲店

東京都中央区銀座6丁目
13番7号(新保ビル2階)
TEL:03-6226-6133

来たとき よりも キレイに!

世界に示す、クリーンジャパン

KEEP EVERYTHING
MORE BEAUTIFUL
THAN IT WAS.

Show the world, CLEAN JAPAN!



公益財団法人 日本オリンピック委員会
Japanese Olympic Committee

10.9 FOCUSED.
TARGETED.
EXACTLY.

WALTHER

LG400
MONOTEC



KK500
PRECISION IN A NEW DIMENSION

POWERED PERFORMANCE.



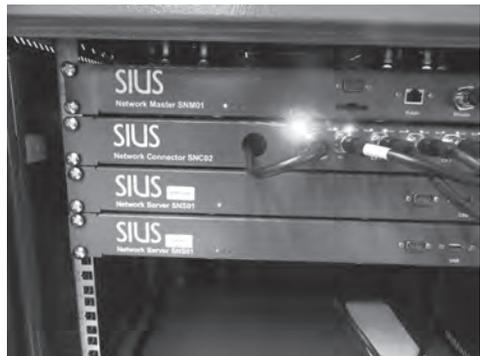
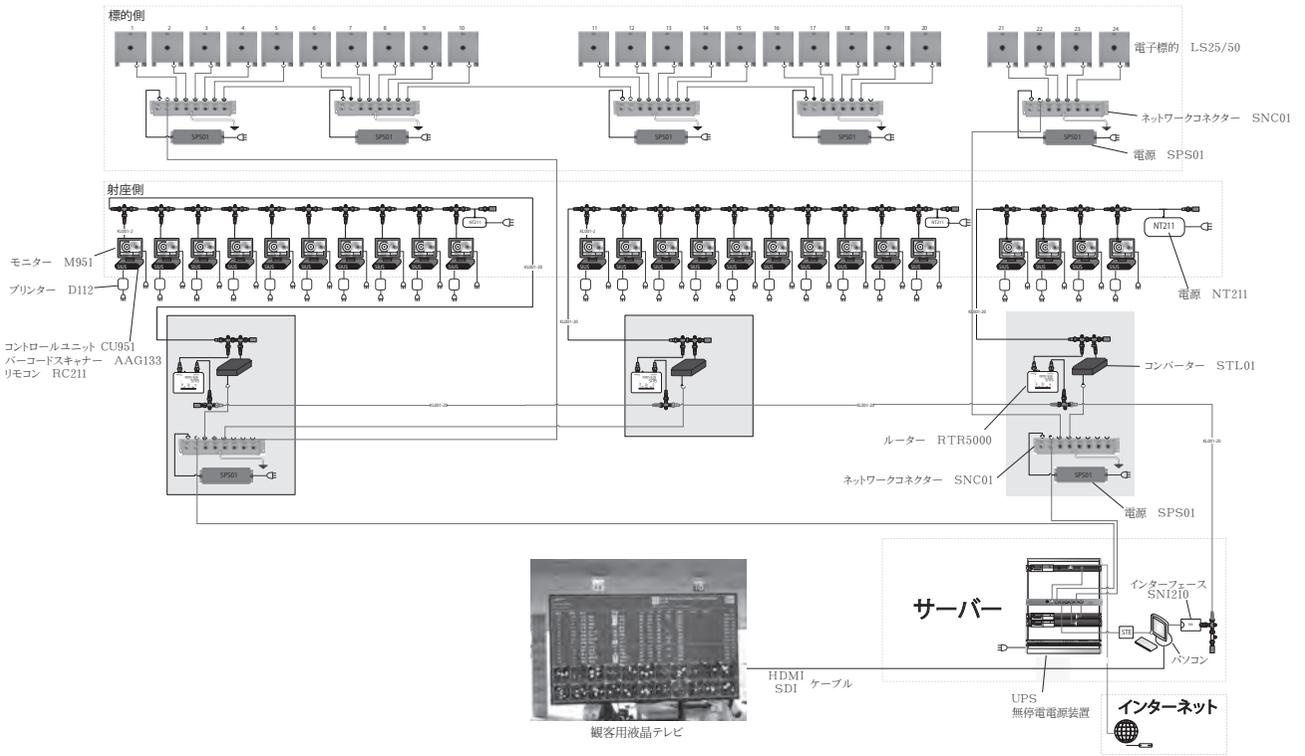
(公社)日本ライフル射撃協会オフィシャルサプライヤー
株式会社 **國友銃砲火薬店**
〒600-8032 京都市下京区寺町通仏光寺東入る 國友ビル 3F

ワルサー社・エレー社 日本代理店

TEL(075)351-3037 FAX (075)351-3041

<http://www.kunitomogs.co.jp> E-mail: shooting@zj8.so-net.ne.jp

STYX ネットワークシステム



ISSF公認 (Phase III・最高評価の公認)

光学式電子標的・超音波式電子標的

SIUS 社 日本総代理店

日本ビーム株式会社

www.japanbeam.com



訂正

2022年2号（第453号）の記事において間違いがありました。
お詫びして訂正致します。

・ P5下から2行目

【誤】 愛知県ライフル射撃協会／伊予市立港南中学校1年

【正】 愛媛県ライフル射撃協会／伊予市立港南中学校1年

・ P6下から8行目

【誤】 停滞しまっている

【正】 停滞してしまっている

・ P21表の上

【誤】 教会ウェブサイト

【正】 協会ウェブサイト

・ P23関連事業関係

【誤】 5月19日(木)ー22日(日) ワールドマスターズ（関西） 日本 和歌山

【正】 開催中止

ライフルスポーツ 購入申込方法

◆お申し込みは郵便振替で下記の宛先までお願いします。

⇒郵便振替の場合

郵便振替 00140 - 0 - 707998 公益社団法人日本ライフル射撃協会

◆価格（送料込み）

⇒一部300円、年間1,800円 学生・生徒一部200円、年間1,200円

◆会員への配布

⇒会員については、会費に含まれていますので、自動配布となります。

ただし、大学生及び中高生会員への配布は、当協会の規程によります。



●発行人 ———— 松丸 喜一郎

●編集 ———— 総務委員会

●発行所 ———— 公益社団法人日本ライフル射撃協会

東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

電話 03 - 6721 - 0792 / FAX 03 - 6721 - 0793

E-mail : rifle @ riflesports.jp

https://www.riflesports.jp/

●印刷所 ———— 広研印刷株式会社

〒171 - 0033 東京都豊島区高田 3 - 3 - 16

電話 03 - 3208 - 8273 / FAX 03 - 3208 - 8244

本誌は、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。



#ともに 越えよう

休んでたわけじゃない
不安や孤独と戦いながら 高めていたんだ
闘志を 自分自身を

私たちの 想いは 情熱は
湧き立ち みなぎり 駆り立てる
前へ 前へ 前へ

できる やれるよ 私たちなら想いをひとつに
その先へ行く力 「ダイバーシティーコンセプト」

さあ スポーツが待ってる

REACH BEYOND





ライフルスポーツ THE RIFLE SPORTS 2022.3

第454号

令和四年五月一日発行 隔月(奇数月)一日発行
昭和五十三年二月二十五日第三種郵便物認可

発行人・松丸喜一郎
発行所・公益社団法人日本ライフル射撃協会

東京都新宿区霞ヶ丘町4-1-2

あるそっ区 区歌

ああ我らの あるそっ区

一、あの家 この家 守ってる
 もしもにすぐ来る 駆けつける
 離れていても 心はそばに
 笑顔が揺れる あるそっ区
 あんしん ココにあるソック

二、夕陽を 背に受け つく家路
 何もない日に 感謝する
 扉にキラリと あのマーク
 つよく やさしく あるそっ区
 あんしん ココにあるソック

三、変わらぬ日々が 変わらぬよう
 大切な人を 守りたい
 熱い想いが 胸を翔ける
 ああ我らの あるそっ区
 あんしん ココにあるソック

WEBで
 試験
 できます♪



あるそっ区長
 伊調 馨

ようこそ
 あるそっ区へ

Welcome to ALSOK

あんしん、ココにあるソック。



ALSOK

年中無休
24時間受付



0120-39-2413

定価 300 円